

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	教育研究施設	階数	地上10F
建設地	大阪府箕面市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	学校、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2018年10月19日
敷地面積	6,000 m ²	作成者	瀬川尚子
建築面積	4,339 m ²	確認日	2018年10月24日
延床面積	24,897 m ²	確認者	久下武彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周辺地域一体となって賑わいを生み出すことができるよう高木による木陰、南北ピロティ、北街区へとつながるデッキ、屋外階段の計画等、地域に開いたキャンパスとした。高い断熱性や開閉可能な窓による採光・通風を確保し、快適な室内空間を構成している。		LEED-ND及びNC認証の取り組みを行っており、基準値を満たした計画としている。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
教室や研究室等高い遮音性が求められる居室が多く、施設内の大多数の間仕切壁は遮音性能TLD-56以上に計画。各居室には加湿器を設置し、冬期の湿度確保が行える計画。	建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしており、4~6階学生講義フロアには学生交流スペース、7~10階研究室フロアには屋外テラスや研究者用交流ラウンジを配置し、リフレッシュできる空間を計画。建物維持管理部門	北大阪急行が延伸され新駅開通に合わせて周辺地区一体北部大阪都市計画箕面船場駅前地区地区計画や箕面船場駅前地区景観デザイン指針に沿った計画としている。新たなキャンパスが計画されることにより人の賑わいが周
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
アウトフレームによる庇利用およびLow-Eガラス採用による負荷抑制や雨水利用、太陽光発電などのパッシブデザインを計画している。アクティブデザインとして、全館LED、廊下への人感センサ設置による照明の点滅制御、(超)節水器具の採用するなど環境に十分配慮した	衛生器具はLEED認定の節水型を採用。屋上雨水の一部を雑用水に利用する計画としている。使用する建材はF☆☆☆☆とし、化学汚染物質の発生を抑えた計画としている。	地球温暖化対策として北側道路に面して高木の列植(イチヨウ)や芝生広場、電気自動車専用の駐車場を計画。平面形状を壁面後退7m(東西)眼界まで大きく計画することにより高さを抑え周辺の日照環境に考慮した。遮音性能の高い間仕切壁とし、西側既存マンションに対して十

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-変-0009

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	教育研究施設					
		建設地	大阪府箕面市船場東3丁目6-2他					
		用途/区分	学校(大学等) 工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					3		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.1	3	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								